



# NiFA NEWS

謹賀新年

“サッカーファミリーと心をひとつに”

# 挑戦・更なる飛躍!



公益財団法人 日本サッカー協会  
会長 田嶋 幸三

新潟県のサッカーファミリーの皆さま、新年明けましておめでとうございます。

日本サッカー協会（JFA）は「世界基準」「育成日本復活」をキーワードに、選手の育成・強化に力を注いできました。

育成に関してはこれまでの活動を継続する一方で、9地域に「地域統括ユースダイレクター」を配置、また「JFAトレセン認定制度」を導入するなど、質の高い指導とプレー環境の充実を図るべく新たな施策に着手しました。代表については、各年代共に海外遠征を増やし、世界トップクラスのチームとのマッチメイクを実現。高いレベルで切磋琢磨してきました。

こういつた取り組みが実を結び、昨年は全てのカテゴリー代表がアジア予選を突破しました。Jリーグも浦和レッズが10年ぶりにアジア王者となり、先のFIFAクラブワールドカップに出場。また、U-20とU-17日本代表、ビーチサッカー代表も世界進出を果たしました。

中でもU-17日本代表は「優勝候補の一角」とも目され、大会中は海外メディアの注目を集めました。しかし、いざ世界強豪と対戦してみると世界の壁は厚く、スピード、フィジカル、技術など

全てにおいて歴然たる差がありました。悔しい経験でしたが、それもワールドカップに出たからこそ分かったこととで、世界大会に出場し続けることの意味を選手が身をもって実感したのは意義あることだったと思います。

## ワールドカップブイヤー

今年度は4年に一度のワールドカップブイヤーです。グループステージの対戦も決まり、本大会に照準を合わせた強化がスタートします。選手間の競争もさらにヒートアップし、Jリーグも活況を呈するでしょう。JFAとしてもこれまで以上に成績を挙げるべく、万全のサポート体制で準備を進めていきます。

なでしこジャパンは世代交代の難しい時期を乗り越え、高倉麻子監督の下でAFC女子アジアカップ2018に臨みます。2019年の女子ワールドカップ（フランス）出場を懸けた戦いですが、東京オリンピックも2年後に迫ってきましたので、今年、世界大会を控えているU-20、U-17日本女子代表と連携して、再び世界女王の座を奪還すべく強化を図っていく考えです。

東京オリンピックを目指すU-21日本代表は森保一監督の指導の下で昨年12月、タ

頭しつつありますが、そういった選手が世界に通用する力を備えられるよう、Jリーグと協働してリーグのさらなる発展を目指していきます。

「ポスト2020」を見据えたスポーツ振興

日本代表が強く、魅力ある存在であることでサッカー人口が拡大し、その広い裾野の中から優れた人材が送り出されていきます。そういったサイクルをしっかりと回していくことが重要で、サッカー界として、「ポスト2020」のスポーツ界というものを考えるべき時期にもなっています。少子高齢化が進み、また、ITや人工知能



一般社団法人 新潟県サッカー協会  
会長 柄 沢 正 三

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては佳い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年も、当協会は理事及び専門委員会等の委員の皆様、連盟・地区協会の役員並びに委員等多くの皆様のご尽力により事業を遂行してまいりました。また、多くのサッカーファミリーの皆様のご支援ご協力を得て、事業の発展と充実が図られてまいりました。関係の皆様には心より感謝申し上げます。

専門委員会をはじめとして協会に関係する

の発達によって人々のライフスタイルが変わっていくと、スポーツは健康づくりや余暇の楽しみといったところで、今以上に大切な役割を担っていくはずですから、東京オリンピック・パラリンピックを一つの意匠で日本に「スポーツ文化」を根付かせたいと願っています。

今年度は、47都道府県との連携をより強固にし、47F.Aの自立的発展を後押ししながら、キッズプログラムや小学校体育サポータープロジェクトなどの普及活動や地域スポーツの振興にも積極的に関わっていきたくと考えています。

世界最高峰の舞台に立つアスリートたちの勇姿を見て、「日本代表になりたい」「世界を舞台に活躍したい」と思う少年少女は少なくないはず。新潟はサッカーとバスケットボールのプロクターを擁し、ウィンタースポーツも盛んな「スポーツ先進県」です。有能な選手を育てる一方で新潟のスポーツの発展にも力を注いでいただきたいと思います。

今年度も新潟県のサッカーファミリーの皆さまにとつて素晴らしい年になりますよう心からお祈りするとともに、日本サッカーに温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新潟県は、新潟県のサッカースポーツの普及発展及び強化育成に努められ新潟県のレベル向上につなげてまいりました。昨年も新潟県勢は多くのチームが北信越地域大会を突破し全国へと進み出した。各々のカテゴリーで結果を出し、新潟県のサッカーが全国レベルにあることを証明し、サッカースポーツの注目度を飛躍的に高めてまいりました。強化育成に携わる多くの皆様の情熱と真摯な取り組みが結果として現れたものであります。

今、全国では少子高齢化、都市部一極集中

準備を整え、今年度のU-15全国大会に向けてもFCステラなど新勢力が登壇してきます。次々と新勢力が現れるこの競技もまた、年代を繋ぐ育成の見本であり、関係各位のご尽力の賜物であります。

女子サッカーにおいては、競技人口の増加を目指し皇后杯全日本女子サッカー選手権を新潟県で開催しております。運営を女子委員会が行い補助役員も全て女子サッカー選手とカー選手が身近でトックラスの選手を見学ぶこと、そして多くの少女たちにサッカー競技を伝えることを目的にしています。新潟県サッカー協会の女子サッカー普及に向けた活動に、ご期待とご支援ご協力をお願いいたします。

さて、多くのファミリーを虜にする高校サッカーは、日本文理高校が高校総体、高校選手権の新潟県2大会を制しました。ユース年代を通じて一貫した育成強化の活動が結実したものであり、この結果は、これからの指導・強化に向けた一つの指針となるものであります。新潟県高校サッカーは古豪・新勢力を含めたより熾烈な戦いを予感させます。

新潟県が全国屈指の強豪県であることは既に広く周知されています。昨年は新たに長岡向陵高校がU-18大会で全国

準優勝を遂げました。また県勢がその力を誇示し続けているU-15全国大会に向けてもFCステラなど新勢力が登壇してきます。次々と新勢力が現れるこの競技もまた、年代を繋ぐ育成の見本であり、関係各位のご尽力の賜物であります。

女子サッカーにおいては、競技人口の増加を目指し皇后杯全日本女子サッカー選手権を新潟県で開催しております。運営を女子委員会が行い補助役員も全て女子サッカー選手とカー選手が身近でトックラスの選手を見学ぶこと、そして多くの少女たちにサッカー競技を伝えることを目的にしています。新潟県サッカー協会の女子サッカー普及に向けた活動に、ご期待とご支援ご協力をお願いいたします。

1からJ2に降格いたしました。多くの県民・サポーターは大きな悲しみに包まれましたが、チームは新体制のもと1年での復帰に向けて準備を続けています。昨シーズン終了間際に見せた戦いがチーム本来の姿です。その実力を発揮した復帰に向けた戦いを信じ応援してまいります。

アルビレックス新潟レディースは、昨シーズン前半の不調が影響しませんでした。後半戦の勢いを維持し、今シーズンこそ優勝を目指します。サッカー少女の憧れでなければなりません。新潟県サッカーを代表し県民の夢を背負う両チームを支援してまいります。

現在、県協会は新潟県及び関係市町と協働し、2020東京オリンピック・パラリンピックに関する事業を遂行中ではありますが、最終目標は本県から同大会に出場する選手を輩出することであり進めなければならぬ課題です。更なる強化育成が求められます。

最後に、会員の皆様にとりまして本年が更なる飛躍の年になりますよう心からご祈念申し上げます。また、協会の事業推進にご支援賜ります日本サッカー協会・北信越サッカー協会・新潟県各自治体・関係企業及び県内サッカーファミリーの皆様

に心から感謝申し上げますとともに益々のご発展をお祈りし新年の挨拶といたします。

アルビレックス新潟は14年間戦い続けたJ



株式会社アルビレックス新潟  
代表取締役社長  
中野 幸夫

明けましておめでと  
うございます。日頃よ  
新潟県サッカー協会  
ならびに新潟県内の  
サッカー関係者の皆様  
から、アルビレックス新  
潟に対して多大なるご  
支援とご声援を賜り、  
厚く御礼申し上げます。  
まずもって2017  
シーズンにおきまし  
て、新潟県サッカー  
協会をはじめ、新潟県  
内のサッカー関係者の  
皆様から厚いご支援を  
賜っておりましたにも  
関わらず、14年間守り  
通してきたJ1リーグ  
の座から降格すること  
に自責の念にかられて  
おります。

私は2017年1月  
にアルビレックス新潟  
代表取締役社長に復帰  
し、チームとしては上  
位進出を目指すことに  
、ビッグスワンがより  
多くのサポーターの皆  
様ににぎわい、新潟が  
より活気あふれる街と  
なるために貢献できれ  
ばと取り組んでまいり  
ました。しかし、それ  
らには及ばず、多くの  
サポーター・スポンサー  
・株主・自治体・関係会  
社、そしてサッカーファ  
ミリーの皆様のご支援と  
ご支援にお応えできな  
かったことを申し訳な  
く思っております。

2018シーズン、  
私どもが闘うJ2リー  
グは非常に厳しい戦い  
が待っています。昨  
シーズン悔しさを誰  
ひとりとして忘れるこ  
となく、一年後に必ず  
J1に戻るという強い  
決意と覚悟で闘ってま  
います。チームの監  
督には、かつてジュビロ  
磐田で幾多のタイトル  
を獲得した鈴木政一氏  
をお迎えしました。鈴  
木監督はジュビロ磐田  
において豊富な経験を  
有するだけではなく、年  
代別日本代表や大学な  
ど、さまざまなカテゴ  
リーで指揮を執られ、  
そのいづれでも確固た  
る実績を築き上げられ  
た指導者です。鈴木監  
督とともに、選手・ス  
タッフが一丸となり、J  
1昇格とともに、J1  
昇格後も安定的に力を  
発揮することができ  
るチームの基盤づくり  
に取り組みしてまいります。



アルビレックス新潟  
監督 鈴木 政一

明けましておめでと  
うございます。日頃よ  
新新潟県サッカー協  
会ならびに新潟県内の  
サッカー関係者の皆様  
におかれましては、多  
大なご支援・ご声援  
を賜り、厚く御礼申し  
上げます。

このたび、2018  
シーズンからアルビ  
レックス新潟の監督に  
就任する鈴木政一と申  
します。新潟県サッ  
カー協会の皆様、県内  
サッカー関係者の皆様  
には、直接ご挨拶をす  
るより前に、「NiFA  
NEWS」紙面を  
お借りしてご挨拶を申  
母校でもある日本体育



アルビレックス新潟レディース  
監督 山崎 真

明けましておめでと  
うございます。新潟  
県サッカー協会ならび  
に新潟県内のサッカー  
関係者の皆様におか  
れましては、日頃から  
アルビレックス新潟レ  
ディースの活動に関し  
まして、多大なるご理  
解とご支援を賜りまし  
て、厚く御礼申し上げ  
ます。2018年シー  
ズン、アルビレックス  
新潟レディースの監督  
に就任いたしました、  
山崎真と申します。今  
後とも、どうぞよろし

くお願い申し上げます。  
私は現役選手を引退  
後、男子ユースチー  
ムやジュニアユース  
チームの指導、育成普  
及ディレクターとして  
の職務に携わってまい  
りました。2007年  
に開催された秋田県国  
体では、成年女子チー  
ムの指導経験を積みま  
した。その間、選手た  
ちへのサッカー技術の  
向上や、サッカーその  
ものの、魅力の普及に  
努め、毎日をサッカー  
の指導に捧げたともし

大学サッカー部の監督  
に就任。2013年か  
らはU-20日本代表  
の監督も任せていただ  
き、新潟県サッカー協  
会をはじめ新潟県のサ  
ッカー関係者の皆様にも  
大変お世話になってお  
りました。当時のご厚  
志に改めて心から御礼  
を申し上げます。

U-20日本代表の  
監督を引退後、再び日  
本体育大学の監督とし  
て指揮を執っていた私  
に、アルビレックス新  
潟の中野幸夫代表取締  
役社長、木村康彦強化  
部長が声をかけていた  
だきました。私自身は  
フロントを経験してい  
たこともあり、クラブ  
やチーム編成にあたる  
方々が、どのような  
クラブを目指し、どう  
いった方向性を持たれ  
ているかが重要だと考  
えておりました。何度  
も直接お会いしてお話  
を進める中で、アルビ  
レックス新潟に対して  
の考え方や、クラブへ  
の愛情を持って、少し  
でも早いチームを  
作り上げたいという意  
欲・熱意を十分に感じ  
ることができました。

アルビレックス新潟  
シーズンの目標である  
J1昇格を実現させる  
ためには、クラブだけ  
ではなく、サポーター  
の皆様、株主・スポ  
ンサーや関係会社の皆  
様、自治体の皆様、新  
潟のサッカーファミ  
リーの皆様のお力が必  
要です。

2008年には  
アルビレックス新潟U  
-13の監督を経験させ  
ていただき、新潟との  
深い縁も感じておりま  
す。そのなかで、この  
たびのレディースチー  
ム監督就任のお声がけ  
をいただけたことは、  
本当に光栄で、新潟の  
サッカー文化の発展や  
深耕のために力を尽く  
したいと、心から身の  
引き締まる思いです。  
アルビレックス新潟  
レディースは昨シーズ  
ン、プレナスでしこ  
れるトレーニングを進  
めてまいります。年齢  
に関わらず、チーム内  
競争を高めていくこと  
で、必然的にプレーの  
クオリティは向上し、  
チーム戦術の浸透ス  
ピードも向上してい  
きます。それに加えて、  
選手たちが持つ、サッ  
カーに対するモチベー  
ションの高さを融合さ  
せることで、女子トッ  
プリーグである、な  
しこリーグ1部を舞台  
に、アルビレックス新  
潟レディースはこれま  
で以上の成績を収めら  
れると信じています。

日本女子代表は  
2011 FIFA 女子  
ワールドカップで優  
勝して以来、世界大会  
の制覇から遠ざかって  
おり、再び世界の頂点  
に立つためには、国内  
リーグのレベル向上が  
不可欠であります。ア  
ルビレックス新潟レ  
ディースの指揮を通  
じ、日本女子サッカー  
全体のクオリティ向上  
にもチャレンジしてい  
きたいと考えておりま  
す。その第一歩となる  
今シーズン、選手・ス  
タッフ・クラブ関係者  
と心をひとつにし、常  
に、アルビレックス新  
潟レディースはこれま  
で以上の成績を収めら  
れると信じています。

### NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、  
英語名 Niigata Football Association の略称を従来の NFA から NiFA に変更し、これを「ニーファ」  
と読みます。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。  
4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。  
そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーを GOAL に向かうサッカーボールで表現しました。  
さらに黒いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。  
NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

#### NiFA の理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

#### NiFA のビジョン

- 新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。  
他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする。県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようにサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍すること、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

#### NiFA の目標 2015

2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
- Jリーグ、リーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
- 各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームの1つ以上が常にベスト4以上の成績を修める。
- JFLに加盟するチームを育成する。
- 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

#### NiFA の目標 2050

2050年にむけて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- Jリーグ、リーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
- 日本で FIFA ワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。

### スマイル&チャレンジ

当協会にご支援いただいている法人各社

**TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報**  
**東北電力 総合生協 新潟県信用金庫協会**

2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

### 東日本大震災 復興支援

がんばろう ニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

一般社団法人新潟県サッカー協会

専務理事 中澤雄一



明けましておめでとうございます。昨年一年間、協会員はじめ関係の皆様のご協力により、滞りなく予定の事業を終えることができました。心よ

うございまして。シーズンでのJ1復帰のため、協会としてもこれまで以上のサポートをしていきたいと思

います。皆様からも今まで以上のご支援ご協力をお願いいたします。サッカー界では昨今、登録者数の減少、とりわけ4種年代にお

ける減少が問題とされています。減少の原因としてはもちろん少子化がありますが、そ

### 「第2回県協会・地区協会 合同会議」実施報告

#### 新潟県サッカー協会 合同会議

新潟県サッカー協会の参考意見・事例が各

各地区協会のこれまでに創意工夫の取り組みが新潟県サッカー協会の新基礎となっておりま

す。この連携をベースに、昨年からの県協会と地区協会との連携・協働・課題共有と解決を更に促進、発展させるために、各地区協会の皆様に

する楽しさなどスポーツが持つ魅力を幼少の段階で体験させること

が、子供たちのスポーツ離れを防ぐ一番の策と考

えます。スポーツの入り口としてサッカーを提供し、その魅力

を伝え、競技者として、また愛好者としてシニアまでサッ

カーを楽しんでもらえるようなサッカーの環境を作

っていききたいと思

います。この具体的なア

クションとして、来年度新たな組織を立ち上げ

ます。「女子普及・育成コーディネーター」を中心

に、キッズ・女子・4種、そして技術の各委員会が連携

### 4種&キッズ&女子連携普及 プロジェクトについて

石川 正記

NiFA ニュース第87号

年度から2017年度までの協会登録人数の推移を

表したグラフである。上の折れ線グラフが1種か

ら女子までの全体の登録人数である。下が4種(小学生年代)の登録人数の推移であ

る。小学生の協会登録人数は全体の三分一を占めており、その推移

は全体の人数の推移とほぼ一致している。

第87号で触れたように日本全体の小学生年代の登録数は2013

年度の32万8千人をピークに2016年度28万9千人と3年間で3万1千人減少した。

それがいよいよ我が県にもその傾向が顕著になってきた。2014年度5656人であつたものが2017年度(9月末)でついに5千人を割り込み4952人となった。2014年から3年間で7百人以上の減少である。減少率にすると実に12%以上である。全体の登録人数もそれに相関して、15555人から14254人へと減少率は8.4%である。小学生の登録人数の減少はすなわち県協会登録人数の減少そのものであり、県協会の土台を揺るがしかねない深刻な問題といえる。

### 「戦略的業務計画立案と 予算編成について」研修会実施報告

新潟県サッカー協会 委員・各種委員会・連

盟・地区協会役員及びサッカー文化を創造する

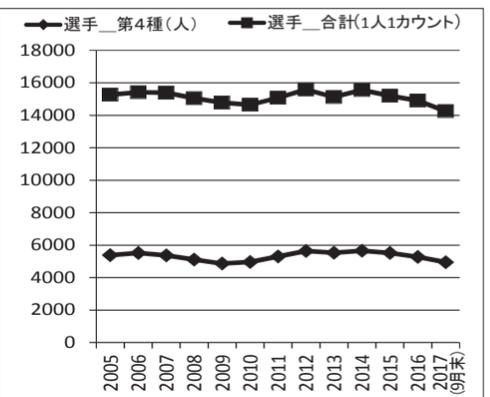
ためにマスタープランを策定し、3年ごとに見直しています。本来、事業計画はこの視点で策定されます。

視点を明確にし未来に向け戦略的に事業計画・予算編成を策定できる「戦略的予算編成と組織変革」のタイトルでビジョン戦略と組織変革へのアプローチ方法を11月25日(土)県協会会議室において遠藤誠先生を講師に研修会を開催しました。

当日は、理事・常務

新潟県 サッカー協会登録人数

年度	選手_第4種(人)	選手_合計(1人1カウント)
2005	5390	15264
2006	5520	15419
2007	5377	15393
2008	5108	15055
2009	4864	14776
2010	4963	14647
2011	5300	15084
2012	5640	15587
2013	5535	15113
2014	5656	15555
2015	5518	15202
2016	5282	14903
2017(9月末)	4952	14254



### NiFAの目標2030

- 2030年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。
- (1) 新潟県内のサッカーファミリーが12万人となる。
  - (2) Jリーグ、Lリーグ、Fリーグ、ビーチサッカー全国リーグに新潟県出身プレーヤーを合計30人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
  - (3) 全国大会の複数カテゴリーにおいて、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
  - (4) Jリーグ、Lリーグ、JFL、Fリーグ、ビーチサッカー全国リーグに加盟するチームが存在する。
  - (5) 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致し、毎年実施し運営する。
  - (6) 新潟県内の各地区にサッカースタジアムがある。

- 1, 4種&女子&キッズ委員会でのカレンダーを共有して、女子U12活動優先の日程を推進する。(すでに実施済み)
- 2, 月に1回程度のガールズデーを設定して、女子U12&キッズサッカー教室やサッカーフェスティバルなどのイベントを企画・運営していく。(実施済み)
- 3, キッズ年代や女子U12や女子U10のサッカー大会やフェスティバルなど地域単位(児童の生活圏内)での開催を支援していく。
- 4, 女子U12&キッズ年代の普及・育成の情報発信や情報交換の場としてホームページの企画・運営(実施済み)
- 5, 女子審判員・女子指導者の普及・育成を推進する。
- 6, 4種委員会内に4種&女子&キッズ連携の役員を置き、人的



## わたしの目標 ★★★★★★★★

JJ Wish 中学1年 鈴鹿 空

わたしの新年の目標は、2つあります。

1つ目は、今のチームメイトと一緒に、県リーグで優勝することです。昨年は出場しましたが、ゴールを奪えずとても悔しい思いをしました。今年はゴールを決めてチームの勝利に貢献して、県リーグで優勝したいです。

2つ目は、たくさんのテクニックを磨いて、どんなポジションでも出来るユーティリティープレイヤーになりたいです。シュートを決められるだけでなくディフェンスも上手になりたいし、アシストも出来るようになりたいです。

最後に、わたしが住んでいる糸魚川では女子選手が少ないので、少しでも糸魚川に女子サッカーを広めていきたいです。そして、たくさんの人にサッカーの楽しさを伝えていきたいです。

## ぼくのわたしの

## 夢

## 僕の夢 ★★★★★★★★

新潟市立石山中学校サッカー部 主将 齋藤 琉太

僕の夢は高校に入って全国高校サッカー選手権で全国大会に行き、プロサッカー選手になって活躍する事です。

僕は小学4年生の時に、友達に誘われて何となくサッカーを始めました。なんとなく始めたサッカーでしたが、やればやるほど楽しいと感じるようになり、いつしかプロサッカー選手になりたいという夢を持ちました。

中学校に入ってからは部活で一生懸命練習しました。小学校とは比べ物にならない強くて上手い選手がたくさんいたし、実力の差を感じました。だから、僕は練習を常に全力でやり、誰にも負けないという気持ちで取り組みました。その結果少しずつだけ、上達するのを感じられるようになりました。

高校生は中学生と比べて体格やスピードも違うし、技術もありません。並大抵の努力では全国に行くこともできません。ましてやプロサッカー選手にもなれません。誰よりも努力して、高校では選手権にでて、プロサッカー選手になります。

## 僕の将来の夢 ★★★★★★★★

JES新潟SCジュニアユース 主将 岡本 隼希

僕の将来の夢は「プロサッカー選手になって活躍する」ことです。そのために、高校サッカーで全国大会に出場して、プロから注目される選手にならないといけません。今の僕は練習量が少なく、技術がなく判断が遅いので、監督・コーチから指導を受けることが多いです。

僕は中学で全国大会に出場できなかった悔しさから、このままの練習量ではだめだと思いました。高校では必ず全国大会に出場して注目されるという目標があります。そのために、努力を惜しまず一つ一つのプレーにこだわりをもって今後の練習に取り組みたいです。

プロになるためにはサッカー面だけではなく、生活面も大切です。誰からも応援してもらえるようなサッカー選手になるために、サッカー以外の部分も大切にしていきたいです。

自分が今サッカーできているのは多くの人の支えがあることを忘れずに、「プロサッカー選手になって活躍する」という夢に向かってサッカーに取り組んでいきたいです。

## 夢を叶えたい ★★★★★★★★

荒川町サッカー少年団 6年 米野 万尋

僕の将来の夢は、日本や世界で活躍する選手になり、五輪やワールドカップのメンバーに選ばれる選手になることです。今は体が小さく、当たり負けしてしまうこともあるけど、夢を叶えるためにも、ご飯をたくさん食べ、相手に負けにくい体の強いサッカー選手になることが目標です。

今、僕には課題があります。それはドリブルのとき、仕掛けていい場面でも消極的になって止まってしまうことが時々あります。止まってしまうと相手がそろってしまうので、味方をうまく使ったり、積極的に仕掛けたりできる選手になれるよう練習から意識して取り組んでいきたいです。

上手いサッカー選手になるために右足だけでなく、左足でも蹴る練習をして試合でもスムーズに使えるようになることと、もっと周りの状況を見て良い判断ができる選手になれるよう頑張ります。

## みんなにありがとう ★★★★★★★★

糸魚川ジュニアサッカークラブ 5年 安田 匠

昨年12月22日の糸魚川駅北大火で、ぼくの家は無くなりました。その時は、「これからどうなるのかな。」「サッカーができないかもしれない。」と思いました。けれども、チームのみなさんの助けがあって、たった2週間でサッカーをすることができました。またサッカーができてとてもうれしかったです。それから、サッカーをすることがこれまで以上に好きになりました。

また、3月に元日本代表の山口素弘選手が糸魚川に来てくださり、一緒にサッカーができました。とてもうれしい出来事でした。

ぼくの家は、もうすぐ創業二百年になる和菓子店で、父が六代目です。ぼくの夢は、七代目になることです。たくさんのお客さんを笑顔にできるおいしいお菓子を作りたいです。そして、お菓子を作りながら、大好きなサッカーをずっと続けたいです。試合でどんなシュートも止められるゴールキーパーとして活やくしたいです。

## よい選手に、よい指導者に ★★★★★★★★

豊照サッカー少年団 5年 野澤 花陽

私の夢は、サッカーの指導者になることです。サッカーを始めたのが人よりも遅かったので、練習についていけず辛かった私に少しずつサッカーの楽しさを教えてくれました。

今でもそれは変わらず、うまくプレイできなくて困ったり苦しんだりしていると、一緒に考えてくれたり、たまにきびしく教えてくれたりして、いつも側で見守ってくれています。私は、そんなコーチ達をととても尊敬しています。

あるコーチが、「考えてプレイしろ。意識しないと何も変わらない。」という言葉プレゼントしてくれました。うまくいかないことは多いけれど、今はその言葉を一番大切にして練習しています。例えば、パス一本一本をどこにどんな強さで出したらいいのか考えてプレイするようにしています。

一つ一つ努力を積み重ねて選手としてステップアップし、いつか指導者になるという夢を実現したいです。がんばります！

## 今年目標 ★★★★★★★★

南万代FC 5年 稲垣 遥

私の今年の目標は、ボールコントロールなどをうまく使えるようになることとスタミナが切れないようにすることです。

私はもうすぐ6年生になるのでボールコントロールができないと試合にもいきようするので、今のうちにできるようにしたいです。特に今年は大きな大会があるのでそれまでに足技も使えるようになり、チームメイトからたよられるようにがんばります。

そして、スタミナが切れないように最後まで試合に出て、練習には休まないようにしたいと思います。スタミナはしょう来にも役にたつのでがんばっていききたいです。

この二つを大切に、全部今年までにはパーフェクトを目指し、勉強も両方できるようにしたいです。



第39回

# 皇后杯全日本女子サッカー選手権大会

## 第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会報告

第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会は10月28日に開幕しました。

本県からは、新潟医療福祉大学女子サッカー部が1回戦から、昨年準優勝のアルビレックス新潟レディースは2回戦から登場しました。

新潟医療福祉大学女子サッカー部は、1回戦作陽高校(中国・岡山)を延長の末、下し

### 第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 県勢成績

- 【1回戦】新潟医療福祉大学(北信越・新潟) 4-3 作陽高校(中国・岡山)・苦戦したが延長の末、勝利、2回戦進出。
- 【2回戦】新潟医療福祉大学(北信越・新潟) 0-2 オルカ鴨川FC(なでしこリーグ2部)・健闘しましたが3回戦進出ならず。
- 【2回戦】アルビレックス新潟L(なでしこリーグ1部) 4-1 仙台大学(東北・宮城)・地力の高さで果敢な攻撃で3回戦進出。
- 【3回戦】アルビレックス新潟L(なでしこリーグ1部) 4-2 伊賀FCくノ一(なでしこリーグ1部)・積極的な攻撃とたくましさで準々決勝進出。
- 【準々決勝】アルビレックス新潟L(なでしこリーグ1部) 0-1 日テレ・ベレーザ(なでしこリーグ1部)・粘り強い守備で対抗したが惜敗、準決勝進出ならず。

## 第96回全国高校サッカー選手権大会 初出場 ベスト8!!

### 試合結果

2017年12月31日(日) 一回戦 14:10~  
浦和駒場スタジアム  
日本文理(新潟) 2-0 立正大淞南(島根)

2018年1月2日(火) 二回戦 14:10~  
NACK5スタジアム大宮  
日本文理(新潟) 2-0 旭川実(北海道)

2018年1月3日(水) 三回戦 14:10~  
浦和駒場スタジアム  
日本文理(新潟) 1-1 (PK7-6) 作陽(岡山)

2018年1月5日(金) 準々決勝 12:05~  
浦和駒場スタジアム

日本文理(新潟) 0 (0-1) 1 矢板中央(栃木)  
(0-0)

### 第26回全日本高校女子サッカー選手権大会 試合結果

2017年12月30日(土) 一回戦 13:45~  
五色台運動公園メイングラウンド  
開志学園JSC(北信越1/新潟) 1-0 香川西(四国2/香川)

2017年12月31日(日) 二回戦 13:45~  
三木総合防災公園陸上競技場

開志学園JSC(北信越1/新潟) 0 (0-3) 4 作陽(中国1/岡山)  
(0-1)

### 追悼の言葉

審判委員会委員長 加藤 芳彦

昨年十月二十日、前審判委員長(県サッカー協会参与)佐野克彦氏が急逝されました。佐野氏は二〇〇九年の二巡目国体時の審判員長として活躍されました。現在、本協会の若手審判員の活躍には目覚ましいものがありますが、その原動力となる体制作りをしたのが佐野氏です。国体に向けて優秀な審判員を育成しなければならぬと現在国際審判員の八木氏が中心となったレフェリースクールを開校したり、北信越審判委員会に大きな改革を提言したりしたのも佐野氏です。WEBを使った登録システムの転換期では苦勞されたことと思います。今の審判委員会では強化部長として県内のトップレフェリーの指導の中心でした。私たちは佐野氏と過ごした時間を忘れません。また一緒に作った環境をさらに良いものに発展させていきます。この場を借りてご冥福をお祈りいたします。

攻撃で下し3回戦に駒を進めました。

3回戦では、伊賀FCくノ一を下し準々決勝に駒を進めました。

準々決勝は、今季のリーグ戦覇者日テレ・ベレーザと4強をかけて対戦しました。

皇后杯では過去2年連続で日テレ・ベレーザを下した相性の良さもありましたが、前半リーグ3連覇を果たした日テレ・ベレーザの強力な攻撃陣に粘り強い守備で対抗、0-0で折り返し、後半も守りから攻撃の機会を作りましたが攻めきれず、隙を突かれPKを献上。これが決勝点となり0-1で惜敗しました。

残念ながら、3年連続の決勝進出にはならず8強で皇后杯の幕を閉じ今季の全日程を終了しました。



アルビレックス新潟レディース



新潟医療福祉大学

### 女子1級審査を終えて

新潟県 山口 鈴佳

このたび、女子1級試験に合格しました山梨鈴佳です。この1年を振り返ってみると、自分を思っていた以上にパワーを使っていたり、この弱さは自分と1年だったなと思いません。試合も緊張していません。それでも、この1年で得たものは大き

### JFAレフェリーキャラバン新潟

審判委員会 内山 拓也

11月25日・26日にJAPANサッカーレフジャ(聖籠町)で「JFAレフェリーキャラバン」が開催されました。「レフェリーキャラバン」とは、2015年よりJFAが実施している事業で、JFA審判委員会

1回目の岡山県での開催から数えて、本県での実施が31回目となります。本県の審判の課題は、「若手審判員の育成及び指導者のスキルアップ」です。そこで今回、指導者に対しては、佐幸1級インストラクター(富山県)と山崎S級インストラクター(北海道)を中心として、各事業を継続させることで厚みのある

合分析が行なわれ、また、若手審判員に対しては、扇谷PRを中心として審判の魅力についての講義、体育館でのミニゲームやプラクティカルトレーニングを活用しながらレフェリングのアドバイスをいただきました。今回のレフェリーキャラバンをきっかけに、各事業を継続させることで厚みのある

かつたです。特にマネジメントに関しては、どのよう選手や役員と向き合うかが見えてくるが、巻き込まれる。この2つは、勉強になりました。全国大会、順位に関わる試合で熱くなった試合をコントロールする責任の重さが身に染みてわかりました。また、自分の弱さ、動き方の傾向などより理解するようになったと思えます。走れていると1年でした。これから新たなステージで審判活動に入ります。これから頑張ります。1年間ありがとうございました。

